

資料2-2

【提案議題2】 摂津市内事業者の人材確保・人材育成の取り組みへの支援について

委員氏名	回答・意見
A委員	<p>ポリテクセンター関西・中小企業大学校関西校・府立高等職業技術専門学校に研修先を限定している理由は何でしょうか。</p> <p>中小企業診断士の理論更新研修もコロナもあり、オンラインで関西にいながら東京や、企業主催のものも受けられるようになり、選択肢が広がりました。有用なオンライン講座を探し、新たに対象にするなど、現状とニーズに合わせた選択肢の増加をされてはどうでしょうか。</p>
B委員	<p>すべての企業がコロナで集客、人材確保が当面の課題です。この問題も、やる気のある人に目を向けさせる方法の周知の必要があると思います。</p> <p>ポリテクセンター関西の知名度</p>
C委員	<p>中小企業は、なかなか第一希望で選んでもらえる訳でなく、大企業へ人材が流れている。ポリテクセンター関西に相談したこともあるが、立地(交通)の関係で結局、人が集まらない、また、地元之星翔高校と工場見学・職場体験などの話もあったが、コロナ禍で実現できておらず、立ち消えの状態となっている。</p> <p>こうした現場の声を聞いてもらったうえで、何かしらの支援を検討してもらいたい。</p>
D委員	<p>人材確保については、摂津市で働くとか何か特典があるといった仕組みが欲しい。大きな会社は従業員の福利厚生がしっかりしているが、零細企業では福利厚生を充実させるのは難しい。よって、摂津市独自の福利厚生があるといいと思う。摂津市営のスポーツ施設の利用が無料とか、温浴施設が無料(月数回でもOK)とか、菜園が無料とか、仕事を定時に終わらせてから、摂津市内で習い事や、娯楽を楽しむ為の補助があればいいと思う。人材育成については、ポリテクセンター関西などは、技術訓練の色が濃いので、気軽に行ってみようとは思えない。自分にはどのような職が合うのか、見極められない人が多いと思う。大人のキッズニア(子供の職業体験)みたいな場所があればいいと思う。まずは、どのような職業があるのか知りたいと思う。専門技術を教わる前に、世の中の職業を教えて欲しい。</p>
E委員	<p>人材確保については、大変難しい問題だと考えます。</p> <p>コロナ禍においても今できる事から取り組んで下さい。</p>
F委員	<p>摂津市内の有効求人倍率は近隣市に比べて非常に高い数字になっています。特に公共交通機関の少ない烏飼地域は求人が難しい状況となっています。摂津市内の事業者には大手企業の下請けとして、非常に高い技術力を有している素晴らしい企業も多く、企業の技術力やスタッフ力や職場環境などの魅力を積極的に発信していくことで、摂津市内で働きたいという人を増やしていきたい。商工会ではオンライン企業訪問を茨木安定所と一緒に実施しており、求職者は自宅でオンラインで会社訪問ができて、企業も求職者からの質問にオンラインで応える事で、自社の魅力を積極的に発信できます。まだ1回しか実施していませんが、今後年に複数回実施していく予定です。</p>
G委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に賛同します。 ・この案件、例えば、転職や女性就業には有効に働くのでしょうか。近年の若者労働は、30-40代での転職も多いので、それへの対応も必要かと思えます。 ・同様に、健康寿命延長を受けて、高齢者雇用にこの事業は、関連するのでしょうか。
H委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク、ポリテク関西、市商工会等は、現在の若者との接点が薄いように思います。若者のツールであるSNSの活用が、必要などではないかと思えます。 ・若者が求める仕事の傾向を改めて考える必要があると思います。